

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：（一社）隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会
活動地域：島根県隠岐郡 隠岐の島町、西ノ島町
海士町、知夫村

活動におけるテーマ・キャッチコピー
誇りを持って隠岐を伝える！

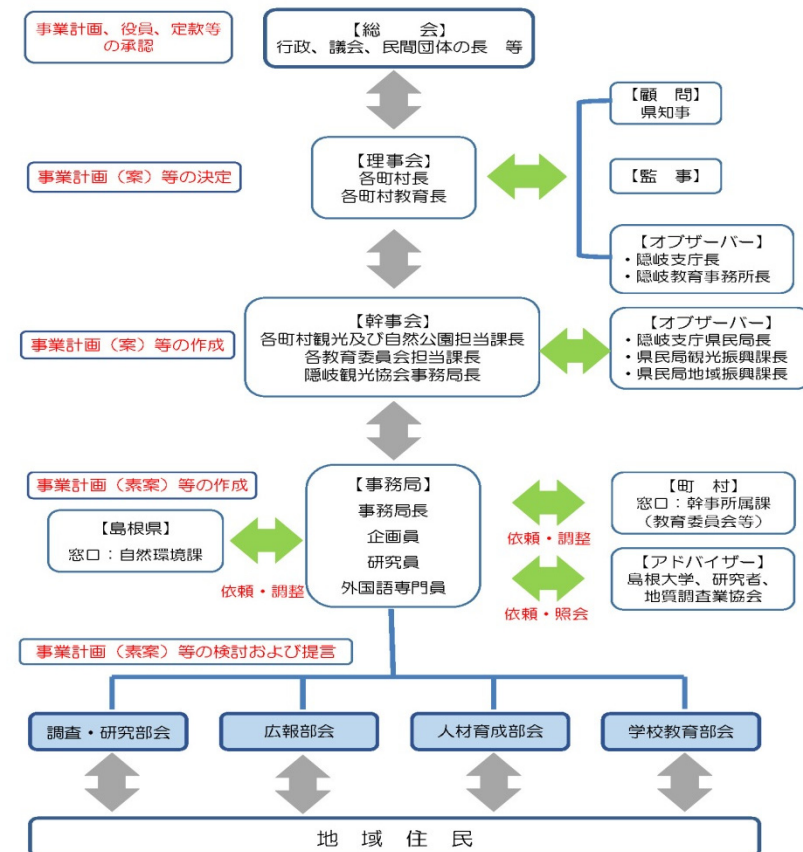
活動団体紹介

【団体紹介】 正会員：51団体 賛助会員：3団体+17人（個人）

正会員：隠岐4町村の行政、教育機関、観光団体、経済団体、民間団体及び島根県

【組織の変遷】 2009年に任意団体として設立し、2020年4月1日に法人格を取得

【活動内容】 ユネスコ世界ジオパークの理念に沿い、教育を基盤とした隠岐地域の活性化を図り、持続可能な地域社会の発展を目的とする。



活動地域の紹介

【隠岐の概要】

後鳥羽上皇、後醍醐天皇が配流となった歴史的背景と大山隠岐国立公園に指定された雄大な自然環境によって観光地として賑わってきたが、1998年以降観光客のニーズの変化や公共事業費の削減によって隠岐を取り巻く環境は悪化している。



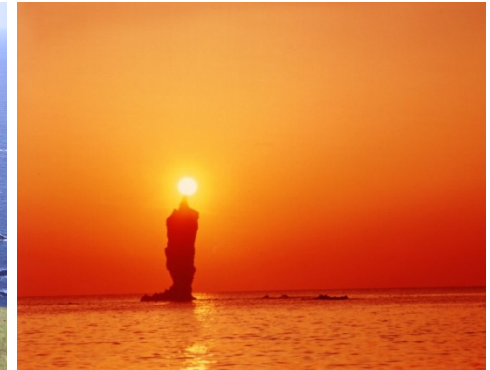
赤 壁
(知夫村)



明屋海岸
(海士町)



国賀海岸
(西ノ島町)



ローソク岩
(隠岐の島町)



ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

住民一人一人が隠岐に対して誇りと愛情を持ち、協力し持続可能な発展を目指す。

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

隠岐の人々が隠岐の価値を認識していなく、隠岐の特徴を活かしたブランディングが出来ていない。また、観光、農林水産業に活用されていなく環境保全の意識が低い。

資源（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

- ・ 日本列島の成り立ち、地球規模の環境変化、地球の内部を知る地質資源。
- ・ 北方系、南方系、大陸性、高山性の植物が共存する不思議な植物分布。
- ・ 黒曜石による3万年前からの歴史文化。

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

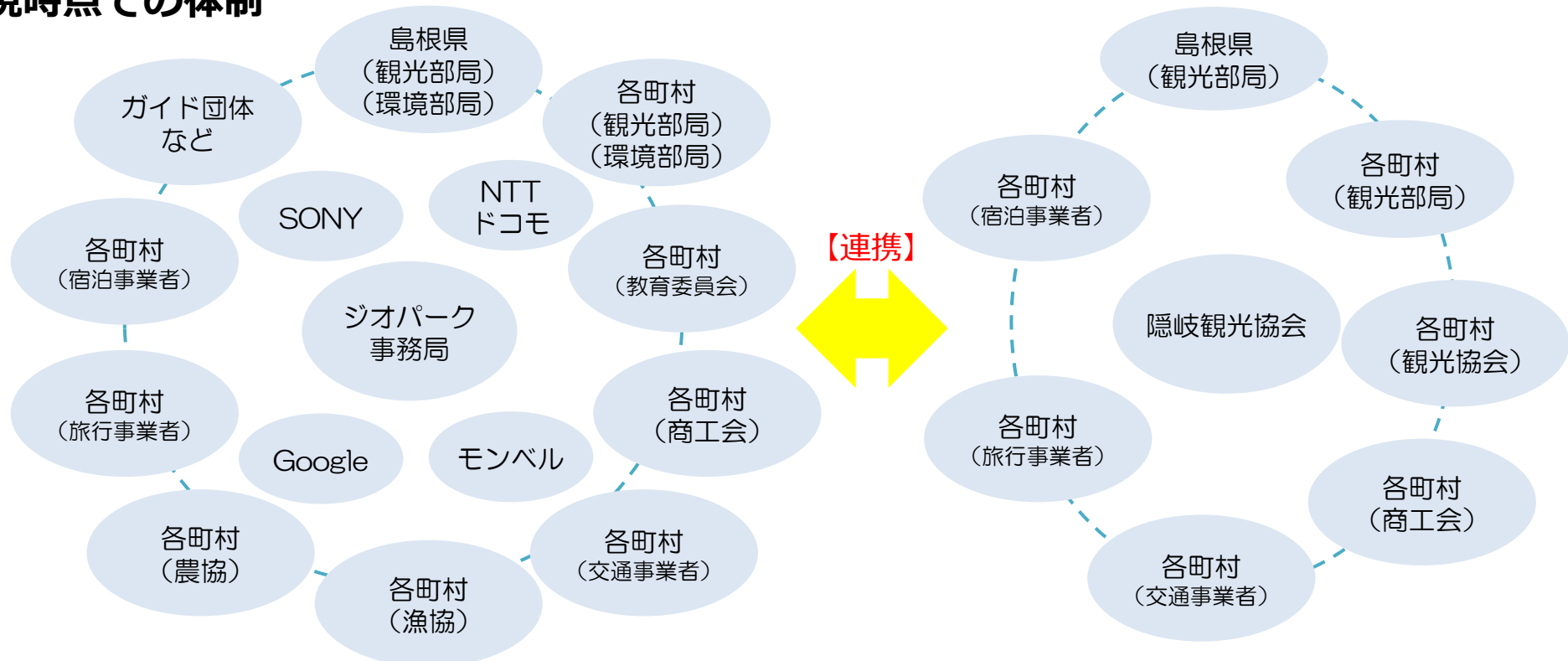
- ・ 観光地域づくり法人（DMO）への登録。現在候補法人登録済み
- ・ 隠岐4島の観光を統括する隠岐観光協会と合併（2022年4月1日）ジオ協が主
- ・ 観光地域づくり法人の基本構想策定（骨子版）

成果（取組によって出したい成果）

隠岐ユネスコ世界ジオパークの地域資源の保全・保護と活用によるジオツーリズムの推進。

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制



環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ

- ・ 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会と隠岐観光協会の2団体での推進体制を一本化することによって、事業の効率化と事業展開の速度を高める。
- ・ ジオパークの資源を活用し、教育を基盤とした観光地域づくりを行う事によって、保全意識の向上とともに、地域内調達の確立による持続可能な仕組みを構築する。
- ・ SONY、NTTドコモ、Google、モンベルなどとの業務提携による事業推進。

年間スケジュール（参考資料）

